

予防接種一覧表

各ワクチンの規定間隔は守る必要があります。

《定期接種》 公費で賄われます

2020年10月1日から注射生ワクチン同士のみ27日以上の間隔が必要に改正されました。

ワクチン名	標準接種年齢 (定期接種対象年齢)	(接種開始年齢) 接種回数	標準的な間隔	別のワクチンまでの間隔	備考
ロタ (ロタリックス®)	生後6週から 15週未満に1回目	2回	4週間以上 ただし生後24週未満までに完了	※27日間 実質なし	ロタテックをご希望の場合は 取り寄せになります。
ヒブ (インフル エンザ 菌b型)	通常 → 2か月から (2か月～5歳未満)	(2か月～7か月未満) 初回3回+追加1回 (7か月～1歳未満) 初回2回+追加1回 (1歳～5歳未満) 1回	4週から8週の間隔で3回、追加は3回目 から7～13か月空けて、1歳以上で 4週から8週の間隔で2回、追加は2回目 から7～13か月空けて	制限なし	初回接種が1歳までに 終了していない場合、 最後から27日以上空 けて追加を1回行う。
肺炎球菌 (PCV15) (バクニュバンス®) 2024年4月1日より 13価プレベナー® から15価に切り 替わりました	通常 → 2か月から (2か月～5歳未満)	(2か月～7か月未満) 初回3回+追加1回 (7か月～12か月未満) 初回2回+追加1回 (12か月～24か月未満) 2回 (24か月～5歳未満) 1回	27日以上の間隔で3回(2歳までに完了 のこと)、追加は3回目から60日以上空け て1歳から1歳3か月で 27日以上の間隔で2回(2歳までに完了のこと)、 追加は2回目から60日以上空けて1歳以降に 60日以上空けて	制限なし	初回2回目が1歳を超えたら 3回目は行わない。初回2回 目3回目が2歳を超えるなら、 行わない。ともに追加接種可。 初回2回目は2歳未満に、それ を超えたら初回2回目をせずに、 追加接種を。
ヒブ、四種混合を既に開始している方は五種混合ワクチンを接種できません。一方、肺炎球菌ワクチンは途中からでもPCV15(バクニュバンス®)で接種することができます。					
B型肝炎	2か月から (1歳未満)	初回2回+追加1回	1回目と2回目の間は4週以上、1回目と3回 目の間は20週以上(かつ1歳未満で完了のこと)	制限なし	
四種混合 (DPT-IPV)	2か月から (2か月～7歳6か月)	初回3回+追加1回	3～8週の間隔で3回、 追加は3回目から1年～1年半後(最短6か月後)	制限なし	2023年4月から、 生後2か月で開始できる ようになりました。
BCG	5か月～8か月未満 (1歳未満)	1回		※27日間 実質なし	自治体により、集団と個別接種に 分れます。堺市は集団接種でした が、2023年1月以降、個別接種のみ になりました。
MR (麻疹・風疹)	I 期 1歳～2歳未満の間に1回 II 期 5歳～7歳未満の小学校就学前の1年間(年長さん)に1回			※27日間	
水痘	初回を1歳～1歳3か月 (1歳～3歳未満)	2回	2回目は1回目から6か月～1年後	※27日間	水痘にかかった方は 対象外になります。2回目 までの最短間隔は3か月。
日本脳炎 I 期	初回の2回を 3歳以上4歳未満に 追加を 4歳以上5歳未満に (6か月～7歳6か月未満)	初回2回+追加1回	1回目と2回目の間は6～28日間、 追加は2回目から概ね1年後 ①特定対象者(平成7年4月2日から平成19年4月1日 生まれ)は、20歳未満まで定期接種の対象 ②平成19 年4月2日から平成21年10月1日生まれは3歳以上 7歳6か月までの1期と9歳以上13歳未満のII期を 使って合計4回接種してください。③平成21年10月2日 生まれ以降は、3歳以上7歳6か月未満に3回、9歳以上 13歳未満に1回。	制限なし	初回2回目から追加 まで最低6か月以上
日本脳炎 II 期	9歳以上10歳未満に (9歳～13歳未満)	1回		制限なし	
二種混合 II 期(DT)	11歳以上12歳未満に (11歳～13歳未満)	1回		制限なし	欄外をご参照ください
子宮頸がん (シルガード®9)	中学1年の女子 (小学6年～高校1年相当) 積極的勧奨に戻り、平成9 年4月2日から平成20年4月 1日生の方は令和6年度末 まで定期接種として接種で きます。	3回	1回目と2回目の間は2か月、1回目と3回目の間は6か月(ただし、2回目と3回目 の間隔は3か月以上)。この間隔でできない場合は、1か月以上の間隔を空けて 2回接種し、2回目の接種から3か月以上空けて3回目を接種する。	制限なし	2022年4月から積極 的勧奨に戻りました。 ガーダシル®がサーバ リックス®で既に開始 している方は、医師と相 談の上、3回に不足分 をシルガード®9で接 種可能(交差接種可)。
		2回	小学校6年～15歳未満までに1回目を受けた方のみ【2回接種】が可能。 1回目と2回目の間は6か月(少なくとも5か月以上)。5か月未満で2回目を接種 した場合は、3回目接種が必要となり、2回目の接種から3か月以上空けて行う。	制限なし	
		3回	1回目と2回目の間は2か月、1回目と3回目の間は6か月 この間隔でできない場合は、1か月以上の間隔を空けて2回接種し、 2回目の接種から3か月以上空けて3回目を接種する。	制限なし	
子宮頸がん (サーバリックス®)		3回	1回目と2回目の間は1か月、1回目と3回目の間は6か月 この間隔でできない場合は、2回目は1回目から1～2.5か月の間で、 3回目は1回目の接種から5～12か月の間で調整する。	制限なし	

いずれか

《任意接種》 自費になります

※ 次のワクチンが注射の生ワクチンだった場合のみ
インフルエンザ以外のワクチンは、コロナワクチン前後2週間打てません

ロタとBCGの実質なしはその時期に打つ
注射の生ワクチンがないことを指します。

ワクチン名	接種年齢	接種回数	間 隔	別のワクチンまでの間隔	料 金 (税込み)
B型肝炎	任意としては1歳以上	初回2回+追加1回	1回目と2回目の間は4週間、 2回目と3回目の間は20～24週間	制限なし	1回5,100円
水痘	任意接種としては3歳以上		水痘にかかった方は不要。13歳未満は3か月以上空けて、計2回を推奨。 13歳以上は4週間以上空けて、計2回を推奨。	※27日間	1回7,140円
おたふくかぜ	1歳以上		1歳を過ぎたら早期に1回目、2回目をMRワクチンのII期と同時期 (5歳以上7歳未満の就学前の1年間)に推奨	※27日間	1回5,100円
三種混合 (DPT)	5歳以上7歳未満頃を推奨	1回(就学前児の百日咳抗体が低下しているため、就学前の追加 接種を推奨)		制限なし	1回5,270円
インフルエンザ	6か月以上 免疫がつきにくいので、 1歳以上での接種 をお勧めします。	(6か月から12歳まで) 2回 (13歳以上) 1回	2～4週間後に2回目 4週間後頃が望ましい	制限なし	1回目 3,100円 2回目 3歳未満:2,600円 3歳以上:3,100円 (当院で1回目を受けておられ ない3歳未満の2回目は 3,100円いただきます。)
子宮頸がん (ガーダシル®)	9歳以上の男性	3回	1回目と2回目の間は2か月、 1回目と3回目の間は6か月	制限なし	1回16,000円

日本小児科学会は、百日咳に対する免疫が低下しているため、11歳以上13歳未満の二種混合(DT)の代わりに三種混合を任意で受けることもできると言い始めましたが、任意ということは自費でということになります。また、同学会は5歳から7歳未満で、ポリオに対する抗体価が減衰する前に不活化ポリオを1回追加接種することを推奨としています。